



朝日子だより

社会人編 Vol.13



吉田高校の皆さんへ

私の、高校生活から現在に至るまでのことを書かせていただきました。皆さんの進路の参考になれば幸いです。

渡辺 圭輔（平成22年度 普通科卒）

河口湖南中学校 勤務

愛知教育大学 初等教育教員養成課程 数学選修 卒業

なぜその職を目指したのか



私が、教員を目指そうと考えたのは高校2年生の秋頃でした。当時、地元のソフトテニスクラブでコーチとして小学生にテニスを教えていました。子どもたちと関わる中で成長していく姿に感動し、子どもの成長に関わる仕事につきたいと思い、教員を目指しました。さらに、大学での教育実習や部活動の外部指導の経験を通して、小、中、高の校種から中学校の教員になることを決めました。

職業・資格までのおおまかなルート

教員になるためには、教員免許を取得する必要があります。教員免許取得のおおまかなルートは大学で必要な単位を修得することです。必ずしも教育学部に進学しなければならないというわけではありません。しかし、大学によっては取得できない校種・教科があるので、その点は大学を調べてみてください。教育学部以外で教員免許を取得しようとする際は、必要になる単位が多く大変だという話を聞きます。



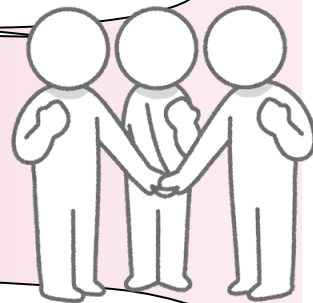
私は、教育大学に進学したので教育大学における資格取得までのルートを紹介します。1、2年生は国語、算数などの9教科に加えて総合や道徳の教育について学習します。また専門の数学については大学数学の基礎を学習します。3年生の10月と4年生の6月に教育実習へ行き、並行して7月に行われる教員採用試験に向けて取り組むことになります。教員になる上で出身大学の差はほとんどありません。与えられたことをするのではなく、自らが行動できるかどうかで他の人と差がつくと思います。

資格試験とその内容

採用試験は大きく分けて、筆記と面接に分かれます。筆記試験は、一般教養、教職教養、専門科目があります。これらは、基本的には各自で学習することが中心になります。また、大学が企画してくれる筆記対策のセミナーに参加するなどの方法もあります。私の大学では、試験が近づくとつれ学校全体が試験に臨む雰囲気になるため、やる気になります。

一方、面接は筆記と違い一人ではできないものではないです。先に述べましたが、教育大学のため学校企画の面接練習の場が設けられています。また、愛知教育大学は国語科、数学科、社会科といったように教科ごとに学科が分かれており、各学科企画の面接練習も行われていました。さらには、生徒主体での練習会もあるなど、様々な場所で面接の練習が行われていました。

いま役に立っていると感じる 高校時代の経験



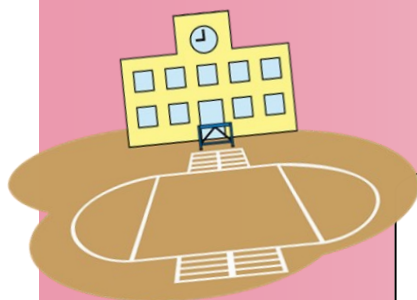
高校・大学時代の経験でいま役に立っていることは、良いことも悪いこともたくさん経験したことです。具体的には高校時代は、部活動を3年間続けることで一生懸命やる楽しさを知り、蒼風祭の実行委員長をすることで全体の前に立つ大変さを知りました。部活動も勉強も頑張ることで大変でしたが充実した生活を送る楽しさを知りました。もちろん、遊びや恋愛を通して嬉しい、悲しいなどの気持ちを知りました。また、先生に怒られたこともあります。この経験がいま本当に役に立っています。怒られるようなことをするときにはどんな気持ちなのか、どんな指導が反省につながるのか、いやな気持ちで終わるのかなどを経験することができました。

大学時代は地元を離れ、一人暮らしをしたことで大きく成長することができました。また、高校時代とは比べものにならないくらいたくさんの人と出会い、たくさんの経験をしました。

教育実習で指導していただいた先生がこんなことを言っていました。「子どもは、先生の言葉を聞いているのではない。先生の人生を見て聞いている」生徒は本当に鋭くて、うわべだけの言葉は伝わりません。その人の経験に支えられた信念ある言葉を聞いてくれるということです。

私は高校、大学で経験した様々なことが自分の役に立っています。皆さんも今できることは全力でやってほしいです。なにもしないでも生きていくことは可能ですが、世間には私も皆さんもまだ知らない楽しいことがたくさんあります。いろんな経験をして深みのある人間になってほしいです。すべてのことが自分のためになると思います。

教員になってよかったなと思う



学校の先生と聞くと、大変そうだなと思う人も多いでしょう。実際に大変なことは多いです（大変なのは教員に限ったことではないですが）。しかし、生徒の笑顔が好きでそのためならどんなことでもできます。部活動では私の未熟な指導についてきてくれた生徒が、関東大会出場を決めた瞬間の笑顔は未だに忘れることができません。

吉高生へのメッセージ

これから皆さんは、大学受験など様々な困難にぶつかると思います。どんな困難にぶつかった時でも皆さんは一人ではないのです。友達や家族や学校の先生など、助けてくれる人はたくさんいます。一人で悩まないでください。人は一人では生きていけません。困った時は助けてもらい、困っている人には手をさしのべてください。友達と一緒に成長してほしいです。

